



Art, Culture, Tradition

46

[発行] 札幌市教育文化会館
アクト第46号

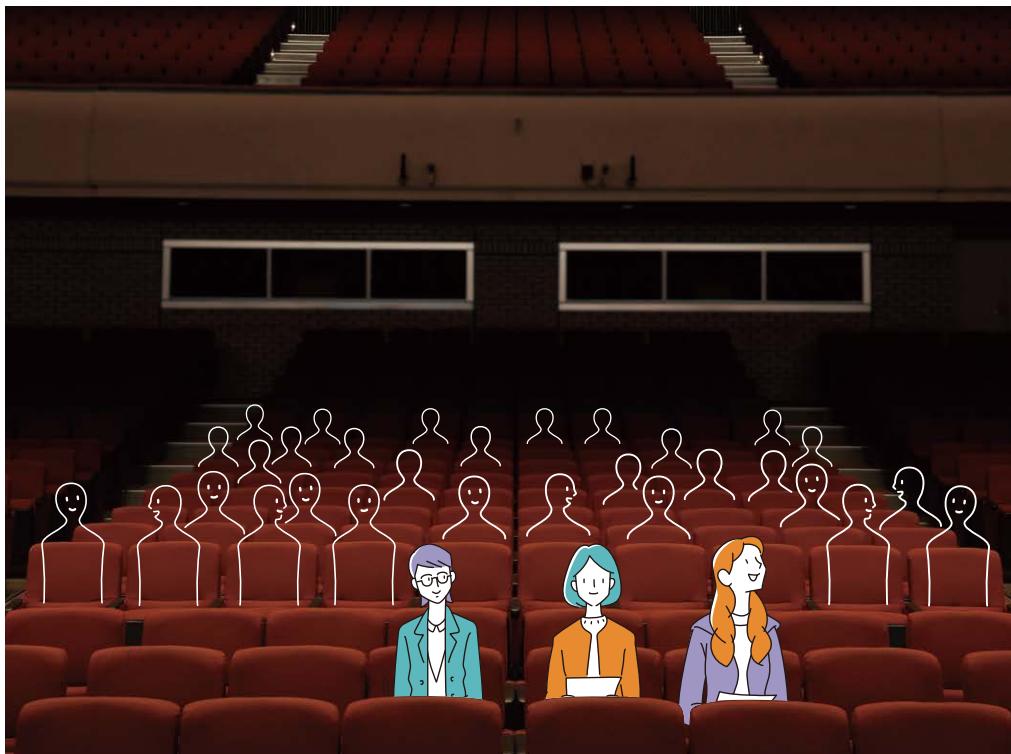
FEBRUARY 2024



観客のススメ

観客のススメ

これまでactでは舞台作品を生み出す人々を特集してきました。そのほとんどが職業としてでしたが、今号では「観客」に焦点を当てた特集。一言で観客と言っても1人として同じ人はいません。共通項は劇場に足を運んで観劇するということのみ。そんな誰もがなり得る「観客」とは、作り手にとって、演劇にとってどのような存在なのでしょうか。観客がいることで初めて成立するとも言われる演劇ですが、それはなぜなのでしょうか。色々な視点で「観客」と演劇の関係を紐解きます。



AUDIENCE A



Profile

観劇愛好家
Aさん

趣味は演劇鑑賞。商業演劇から小劇場演劇まで幅広く月に3回は劇場に足を運ぶ。作品によっては友人を誘うことも。楽しそうなことは考えるよりまずトライする行動派で、周りの人と楽しいことを共有するのが大好き。ただ理論よりも気持ちで話すタイプで、少し言葉足らずのが難点。

AUDIENCE B



Profile

観劇初心者
Bさん

趣味は音楽鑑賞。好きなアーティストのライブは欠かさず足を運ぶ。Aさんに誘われ何度か観劇経験があり演劇も悪くないと思っている。自己主張はしないが芯がしっかりしていて、どんな場所でも物怖じしない。相手の気持ちを汲みつつ理路整然と話すタイプなので、友だちから相談されることも多い。

AUDIENCE C



Profile

観劇未経験者
Cさん

趣味はスポーツ観戦。テレビ中継はもちろん試合観戦にも足を運ぶ。それ以外は無趣味のインドア派で演劇も未経験。心配性で臆病なため新しいことにはなかなか手を出せないが、好きになるとどっぷりハマるタイプ。わからないことがあると不安を解消したいのか、すぐ質問をして確認することを好む。

一人一人の「観客」

観客と一言で行っても職業も年齢も趣味も違います。観劇への考え方や、そこへ至るきっかけにどれほど違いがあるのでしょうか。ここでは大学時代からの友人である3人の会話を例に、様々な「観客」や「観客になりそうな人がどんな違いがあるのか見てみましょう。

- A 来月に演劇の公演を観に行くんだけど一緒に行かない?今度の作品は2人だったら楽しめる気がするんだよね。スケジュールが大丈夫ならどうかな?
- B その日なら空いてるし、演劇しばらくぶりだから付き合ってもいいよ。
- A やったー!到着のタイミング違うかもしれないから劇場集合でいい?チケットは各自で買うでいいかな。
- B わかったよ。あとでチケットのリンク教えて。Cはどうする?せっかくなら一緒に行かない?
- C その日は空いてるけど私、演劇を観に行ったことないんだよね…どうしようかな。
- A 空いてるなら行こうよ!大丈夫だよ絶対面白いから!3人で一緒に行きたいな。
- C 演劇よくわかんないんだよね。どう楽しんでいいかもわからないし。チケットはネットで買えるの?
- A そうだよ。プレイガイドで買える時もあるし、劇団や役者さんのSNSに連絡して取り置きしてもらうこともあるよ。
- C 役者さんに直接DMするの?取り置きってよくわからなければ行くならネットで買うよ。というか別にチケット買ったら並んで座れないんじゃない?
- A この公演は自由席だから大丈夫。でも並んで観たいからロビーで待ち合わせてから一緒に受付して席決めようか。
- C 私その会場行ったことないからうまく合流できるか

- な。到着ギリギリになって会えなかったらやだな。
- B 多分大丈夫だよ。あそこのロビーそんなに広くないし。会場ついたらすぐわかると思うよ。
- A あ!でもロビーで待てたら迷惑になっちゃうかも。やっぱり劇場の近くで待ち合わせようか。
- C ロビーなのに待ち合わせるのが迷惑になるの?マナー違反?なんか暗黙のルールとか色々あります!
- B この劇場はロビーがあんまり広くないからAが気付かってるだけだよ。別に絶対のルールってわけじゃないから怖がらなくて大丈夫。
- A そうそう。演劇のマナーなんて一般的なものしかないから安心していいよ。
- C 私には普通じゃないかもしれないから、やっぱりきちんとマナーとか知ってる状態で行きたいな。来てるお客様色々わかってる常連さんばかりなんじゃない?みたいな素人が行ったら迷惑かけるんじゃない…?
- B そんなことないよ。私だってAに誘われて初めて行ったけど、ぜんぜん平気だったし楽しかったよ。
- C マナーもそうだけど、私初めて行く場所とか緊張しちゃうんだよね。絶対一人では行けない気がする。
- A スタッフさんが色々説明してくれるから一人で行っても



大丈夫だよ。どっちにしろ今回は私達もいるから安心でしょ!

- C 一人じゃないのは心強いけど。あとそもそも私出てる人の顔とか役名とか覚えられないから楽しめる少し不安なんだよね。なんか演劇ならではの楽しみ方とか魅力とか教えてよ。
- B んー、演劇を劇場で観るあの感じは言葉で説明するのは難しいかも。Cがよく行ってるスポーツ観戦もテレビで観ると試合会場で見るとでは全然違うんじゃない?
- C それは確かに!あの感じは実際行ってみないとわからないかも。やっぱり演劇も行ってみたいとなのかな…。
- A 今決められなくても、もし行きたくなったら連絡ちょうだい。私もCが安心して行ってみたくなるよう考えてみるね!
- C 私も行く方向で考えてみる!また連絡する!

演劇の楽しさを疑わないAさん、付き合いのいいBさん、ドキドキしながら会場へ向かうCさん。観客はそれぞれの思いを胸に劇場へと足を運びます。だからこそ体験も感想も千差万別。自由に楽しむことが観客には重要ではないでしょうか。

演劇に関わる人にとっての「観客」

演劇を作る側にとっての観客とはどういった存在なのでしょうか。

本当に観客の存在が重要なのか、アンケートに答えてもらいました。(回答20件)

- 観客の反応が伝わってくる瞬間はありますか?

ある:90%

ない:5%

(あるといった人のコメント):笑い声や泣き声、座り直す音など観客の集中度合いも舞台上にいても気づきます/ある程度客席側にも意識を向いているから/うまく言えないが肌で何かを感じる瞬間があります/クライマックスシーンなどは集中してくれていると感じます。

- 観客の反応は演技に影響する?

影響する:70%

影響しない:30%

(影響するといった人のコメント):良い反応を貰えるとパワーが出ます/共有できることが嬉しい。反応は良くも悪くもその場でしか体感できません./一体感が生まれ一つの場として楽しめるから/その日その場にいるお客様に合わせて変えていくところがあれば変えていきたい

- アンケートは気になりますか?

気になる:55%

気にならない:45%

(気になるといった人のコメント):良い意見もそうでない意見も糧になるから/自分が携わった作品が観客に何かしら伝えることができたのか確認したい/参考にさせてもらえる意見があるかもしれないから/作品を初めて観た時にどう思ったか気になるから

- 演劇は観客がいて成立すると言われますが、なぜだと思いますか?(自由回答)

○観客の空気感も合わせて舞台が完成します。観てくれる方がないと自己完結で終わってしまうと思います。
○観客の舞台への集中力が作品や他の観客へ伝わります。演劇はそれと一緒に歩んで作られていくものだからです。
○同じ空間にて共有することで演劇は成り立ちます。大なり小なり人に影響を与えることを演劇というのでは。
○観客が目撃したものが演劇だと思います。○演劇は作り手と観客の対話だからです。

観客初心者ガイド

初めてのことは疑問がいっぱい。観劇に関して実際に教育文化会館へ届いた疑問に教文スタッフが答えました。観劇するか迷ってる方は、是非参考にして初めての「観客」を安心して楽しみましょう。

- Q 演劇って観たことがないけど、そもそもどんなもの?

- A 目の前にいる人によって物語が繰り広げられます。これを生で鑑賞することがテレビや映画と違う演劇の醍醐味であります。

- Q 観劇したことない私が1人で行っても場違いにならないですか?

- A 初めての方も、お1人の方も沢山いらっしゃいますので大丈夫です。ご不安があれば事前にお問い合わせ、または会場スタッフに気軽にお尋ねください。

- Q 舞台の公演情報はどこで探せばいいですか?チケットはどうすれば?

- A インターネットが探しやすく、札幌の公演情報を集めたサイトもございます。チケットは様々な方法で予約・購入できますが、団体によって異なるためチラシやHPなどでご確認ください。

- Q 観劇する時のマナーはありますか?

- A 一般的には「飲食厳禁」「携帯など音のなるものの電源オフ」「公演中は私語厳禁」「写真撮影禁止」など他のお客様のご迷惑にならないようお願いをしています。

- Q 時間に間に合わなかったり、急に行けなくなったりした時はどうすれば?

- A 途中入場も可能ですが是非わかった時点でお問い合わせ先へご連絡ください。スタッフが対応いたします。

- Q 途中で入退場はできますか?

- A はい。トイレに行きたい時や具合が悪くなった時など気軽に会場スタッフにお声掛けください。会場が暗くなっている場合が多いのでご案内いたします。

- Q オリジナル脚本と昔からある脚本。初めて観るならどちらが良いですか?

- A それぞれに面白さがあります。ただ、昔からある脚本は多くの人に魅力的だからこそ繰り返し上演されています。最初はご自身が知っている作品の方が入りやすいかもしれません。

- Q 札幌で演劇初心者でも楽しめるイベントや舞台はありますか?

- A 沢山あると思います。例えば教文短編演劇祭などは1日で20分の作品を複数観られるイベントですので、観劇初心者の方でも観やすく、いろんな団体を一緒に楽しむことができます。

色々な思いをもった観客と作り手が同じ空気感を共有することで生み出されるものが「演劇」。だとすると「観客」は演劇に必要不可欠な存在です。作り手からの一方ではなく、観客との双方向で作られる演劇は、同じセリフを言ってはいても決して同じものにはなりません。あなたも劇場へ足を運び「観客」として演劇と一緒に生み出してみませんか。